

私の科博(植物園)ライフ四半世紀

—これまでと、これからと—



はった ひろあき
八田洋章
国立科学博物館 筑波実験植物園

昭和17年 三重県生まれ
43年 (財)木原生物学研究
所研究員
45年 (株)国土計画勤務
50年 (株)西武不動産勤務
54年 筑波実験植物園研究官
平成19年3月 目度く退職予定

著書・編著書・分担執筆
『木の見かた楽しみかた
—ツリーウォッチング入門』1998
朝日選書599 朝日新聞社 など多数
くでもすべて啓蒙書>

私の仕事

1. ヤマボウシと共に (1974年)



<ヤマボウシは樹形研究会のシンボルマーク>

2. ヨウラクツツジ属に魅せられて (1978年~)

ホザキツリガネツツジ *Menziesia katsumatae* Tashiro et Hatta (写真左)
ヤクシマヨウラクツツジ *Menziesia yakusimensis* Tashiro et Hatta (写真右)



3. 樹形研究 (1989年度~)

(a) 実生調査、(b) シュートの更新、(c) フェノロジー調査

4. ボゴール植物園との共同調査・研究 (2001~2004年)

くささやかな花道? 終えてみれば楽しかった

成果①: 『Phenology and Growth Habits of Tropical Trees

—Long-term Observations in the Bogor and Cibodas Botanic Gardens, Indonesia』
National Science Museum Monographs No. 30. 436 pp. (2005)

成果②: 企画展「熱帯雨林・その魅力と新鮮な驚き」於: 本館および筑波 (2006)

5. 海外調査 <リュックを背負って歩くのが好きでした>

(1)スリナム(1973, カワゴケソウ科調査); (3)韓国 (1975・1976, ヤマボウシ調査); (4) メキシコ・U.S.A. ・カナダ (1986, ミズキ属調査); (5) 台湾(1988, ミズキ属調査); (6)中国四川省 (1989, ミズキ属調査); (7)ネパール (1991, ミズキ属調査); (8) 中国雲南省 (1992, 緑化資源植物調査); (9)ネパール (1992, 高山植物調査); (10) 香港(1992, ヤマボウシ調査); (11) 欧州 (1993, 植物園探訪); (12) 中国福建省(1994, 照葉樹林調査); (15) タイ北部 (1995, 1997, 1998 焼畑調査); (16) バヌアツ(1996, 熱帯高地のフロラ); (17) 中国雲南省(1998 焼畑調査); (18) タイ東北部・南部(1998, 焼畑調査); (19) エチオピア(1998, 焼畑調査); (20) インドネシア (2000, 熱帯樹木調査); (21) スペイン (2001, 国際植物園会議); (37) インドネシア (2001~2004, 隔月に16回、熱帯樹木の生活史調査); (38) パプアニューギニア (2002, JICA, 樹木調査); (41) インドネシア (2005~2006, 3回、企画展準備); (42) ミャンマー (2006年12月<予定>, JICA)

<最も愉快だったのは、1年間のユーラシア大陸

ヒッチハイク、ただし遊びでした>

6. 今後の仕事 <樹形研究会の仲間に助けられながら>

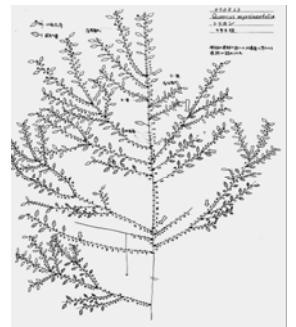
『フェノロジー観察樹木図鑑』の完成に向けて (1989年~、仕事のまとめ)

—未だ世界中で、コンナ内容の図鑑は無イト思フ。完成スレバノ話デスケド—

- ①1200種のデータベースによる日本産樹木の総点検(総論1)
- ②フェノロジー記録のデータベース(600種目標;総論2)
- ③描画(以下種毎の各論) ④分枝図 ⑤フェノロジー記録とグラフ ⑥実生 ⑦茎断面

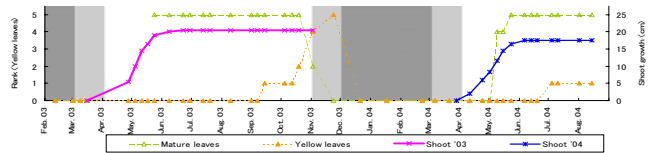


③ 描画 (則武:クヌギ)

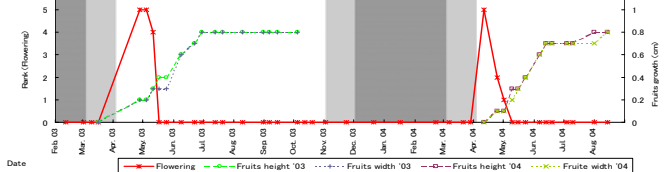


④ 分枝図(笠原:シラカシ 4年枝)

Stem elongation and Yellow leaves



Fruits elongation and Flowering



⑤ フェノロジーグラフ(春夏秋冬:成葉・開花・茎の伸長・果実)



⑥ 実生(持田・磯田:シラカシ1年生)



⑦ 茎断面(若山:クロモジ 4年生)